２０10年　読書記録

No.	タイトル	著者		読了日		評価	ひと言感想
		名前	No.	日にち	冊/月		
1	続氷点（下）	三浦綾子	51	1月5日		2.0	宗教色が強くなる結末が残念な気がした。
2	うたかた	吉本ばなな	53	1月13日		2.0	話に引き込まれてすらすら読めたが心に残るものは？？？
3	青空の休暇	辻仁成	8	1月17日		2.5	面白い！青春は自分が終わらせない限り終わらない。老後について考えさせられた。
4	となり町戦争	三浦亜紀	54	1月28日	4	2.0	設定が明らかにめちゃくちゃだが共感できる所も多かった。こういうやり方もあるのか。
5	銀河鉄道の夜	宮沢賢治	55	2月5日		1	言わずと知れた名作だが、自分には良さが理解できなかった。
6	太田光自伝	太田光	56	2月8日		2.0	自分と似ている所がありそうに思えた。
7	人生論ノート	三木清	57	2月14日		2.0	理解できない所ばかりだったが、いつか響いてきそうな内容は魅力的であった。
8	聖の青春	大崎善生	16	2月20日		2.3	ノンフィクションという所がすごい。生き方について考えさせられた。
9	夏の終わり	瀬戸内 寂聴	58	2月24日		1.5	話の古さに共感できず、名前と同じで寂しい感じがした。
10	天下御免の向こう見ず	太田光	56	2月27日	6	2.0	一生懸命書いたという感じが伝わってきた。
11	読め！	浜田雅功	59	3月3日		1.5	さらりと読めた。浜ちゃんって見た目通りの人だと思った。
12	僕の赤ちゃん達たち	三田誠広	2	3月8日		1.5	子供の個性が持って生まれたものと言う点は同感。あとは良い環境をどう与えるかだと思う。
13	悲しみよこんにちは	サガン	60	3月13日		2.0	前半はいまいちだが、後半引き摺り込まれた
14	今を生きる	爆笑問題	11	3月16日		1.5	100円中古本だけにネタが古いが感じる所はあった。通勤中の息抜きにぴったり。
15	潮騒	三島由紀夫	61	3月25日	5	2.0	意外にも難解さは全くなく、純愛小説のお手本みたいな内容だった。
16	老人と海	ヘミングウェイ	43	4月3日		1.5	海と戦い打ちのめされる老人に何を感じればいいというのか？
17	嫉妬の香り	辻仁成	8	4月15日		1.5	香水に対して無関心だったので、少し知見を広められた。
18	家族の言い訳	森 浩美	62	4月19日		1.5	全体的に寂しい雰囲気、悲観的すぎる感じがした。家族の楽しい言い訳を読みたかった。
19	オンリー・ミー 私だけを】	三谷幸喜	63	4月26日	4	1.5	面白くはないが、個性を主張しつつ、憎まれない生き方のコツの本のように思えた。
20	読書のススメ	爆笑問題	11	5月15日		1.5	面白おかしく読めたが特に印象に残った人はいなかった。
21	そういうふうにできている	さくらももこ	41	5月17日		1.0	暇つぶし程度。子供ができる前だったら印象に残る部分もあったかも。
22	将棋の子	大崎善生	16	5月22日		1.5	毎日をドラマチックに生きることは、快適な生活とは対極にあるのかも。
23	星の王子様	サンニテグジュペリ	64	5月29日	4	1.5	何がいいたいのかいまいち良く解からない。なぜこれが名作？
24	星の王子様の恋愛論	三田誠広	2	6月7日		1.5	この本を読んで、はじめて星の王子様が理解できたが、そんなんで名作と言えるのか？
25	鎌田行進曲	つか こうへい	65	6月22日		2.0	銀ちゃん、やすのキャラクターが面白い。もっと盛り上がるエンディングを期待してしまった。
26	爆笑問題のそんなことまで聞いてない	爆笑問題	11	6月25日		1.5	古本だけに時事ネタが古いが、時代は同じようなことの繰り返しであると感じられた。
27	楽園のつくり方	笹生陽子	66	6月28日	4	2.5	物語の中に人生のノウハウが散りばめられている。子供に薦めてみようと思う。
28	微熱少年	松本隆	67	7月5日		2.2	物語を流れる空気がどこか懐かしく、心地良い。後半現実離れしていくのが残念。
29	ロックンロールミシン	鈴木 清剛	36	7月13日		1.5	夢に向かうのは難しいという当たり前の内容。共感はできるが抜け出せずに終わるのが残念。
30	僕らのサイテーの夏	笹生陽子	66	7月20日		1.5	楽園のつくり方に比べるといまいちで雑な凡作。
31	陰日向に咲く』	劇団ひとり	68	7月27日		1.7	日々の疲れが癒されるようなほのぼのとした気分になった。
32	あなたが欲しい	安達千夏	69	7月31日	5	1.5	ハウスメーカー営業の本音や、家は単なる箱という考え方は面白いが、後半は飽きた。
33	空にとどくまで	関口靖	70	8月5日		2.5	実は誰もが悩みを抱えている青春時代が、リアルに爽やかに描かれている。
34	かもめのジョナサン	リチャード・バック	71	8月8日		1.5	昔父親に勧められて読んだのを思い出した。良い話だが世界的ベストセラーになる程とは、、、
35	野菊の墓	伊藤左千夫	72	8月15日		1.5	ありがちだが面白い（多くの小説の手本になっているようだ）。野菊の墓の以外は全くつまらない。
36	ぼくたちと駐在さんの700日戦争①	ママチャリ	73	8月24日		2.3	通勤電車でにやけ笑いが止まらず、周りに変な眼で見られてしまった。心の底から笑った。
37	岳物語	椎名誠	74	8月30日	5	1.5	子育ての１つのｹｰｽとして参考になった。岳くんがどんな大人になったのかが気になる。
38	ぼくたちと駐在さんの700日戦争②	ママチャリ	73	9月2日		2.2	①での笑える要素に感動する要素が加わった『花火泥棒』は評判通り良い話だった。
39	ギブソン	伊藤たかみ	75	9月8日		2.0	ありがちな話だがそれなりに面白い。絆創膏が印象的。バンドはじめようかな（笑）。
40	ぼくたちと駐在さんの700日戦争③	ママチャリ	73	9月12日		2.0	そろそろつまらなくなる頃だと思ったが面白く読めた。話のもって行き方がうまい。
41	国家の品格	藤原正彦	76	9月20日		2.0	整理して分かりやすく説明してくれている。言っていることはすごく良く分かる。
42	透明な水	斉藤由貴	77	9月28日	5	2.0	一部印象に残る短編もあったが、どうも内容や言い回しに尾崎豊の影がちらついてしまう。
43	僕は悪党になりたい	笹生陽子	66	10月10日		2.0	主人公の行動や考え方に共感できる部分もあるが、その先に何も感じられなかった。
44	定年ゴジラ	重松 清	78	10月21日		2.0	住宅地に関する部分は面白いが、定年を悲観的に書き過ぎている。打開策が読みたかった。
45	ぼくたちと駐在さんの700日戦争④	ママチャリ	73	10月30日	3	1.5	面白く読み進められるが、次第にリアリティーが無くなってきているのが残念。
46	夜のピクニック	恩田陸	79	11月16日		2.5	事件が無くとも湧き上がる高校生特有のワクワク感がリアル。小説の世界に強く引き込まれた。
47	17歳だった！	原田宗典	5	11月27日	2	1.5	確かに高校時代ってこんな感じだったが、今の僕が読みたいのは懐かしむ先の何か。
48	家族それはヘンテコなもの	原田宗典	5	12月5日		1.5	面白くないと思いつつもつい読み進めてしまう。この人自分と感受性が似ているかも。
49	図書館の海	恩田陸	79	12月17日		1.5	どの話も短く気持ちが入る前に終わってしまう。「ピクニックの準備」は内容が無かった。
50	友情	武者小路実篤	80	12月22日	3	2.7	失恋をﾊﾞﾈに頑張ろうとする姿に共感が持てる。志の高い人の会話は聞いてて気持ちがいい。